

～地域づくりネットワーク福岡県協議会～

令和3年度 ブロック会議 活動概要



地域づくりネットワーク福岡県協議会

北九州ブロック会議 活動概要

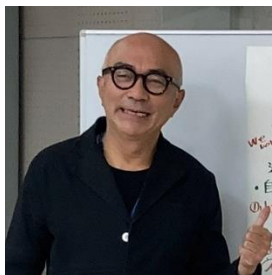
日時：令和3年11月23日(火)14:00～15:45

会場：いきいきほーる 多目的ホール（遠賀郡水巻町頃末南3丁目11-1）

令和3年度 会議テーマ アフターコロナを見据えたこれからの地域づくり活動について

1 講演

北九州ブロック会議では、「アフターコロナを見据えたこれからの地域づくり活動について」をテーマに、アフターコロナでの地域づくり活動のヒントに繋がることについて学び、地域づくり活動を改めて考える機会とすることを目的に2名の講師に御講演いただきました。



【講演Ⅰ】

◆講師：辻^{つじ}利之^{としゆき}氏（株式会社辻利茶舗取締役会長/We Love 小倉協議会会長）

◆演題：市民の力で「小倉城竹あかり」開催
～コロナ収束後の地域振興の在り方について～



小倉の街の実情や小倉城竹あかりの裏側をお話しいただきました。また、自分の街の素晴らしさを整理することや活動継続には「人」が大事であること、費用をかけずに活動を行うこと、自身の得意分野を活用しながら、街との接点を作ることが大切だと述べられました。

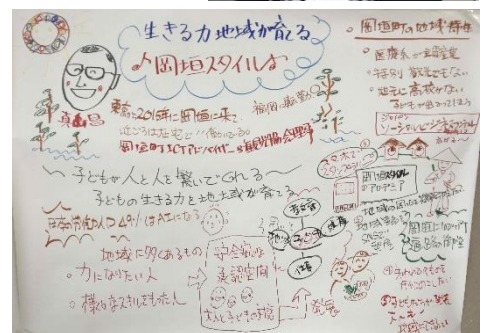
【講演Ⅱ】

◆講師：眞山^{まやま}昌^{まさる}氏（岡垣町観光協会理事）

◆演題：子どもの学びを通じた地域活性化「岡垣スタイル」について



子どもたちが作成したECサイトや小学生と大人が一緒に取り組んだ事業などについてお話しいただきました。また、地域の方々から信頼を得ることや誰もが参加しやすい仕組みを作ること、時間をかけて地域と深くかかわることが大切だと述べられました。



2 意見交換

◆ファシリテーター：原賀 いずみ 氏（北九州インタープリテーション研究会代表）

各々の地域で抱えている課題について、講師の方々からアドバイスをいただく形で意見交換を行いました。講師からは、身近に価値あるものがたくさんあるので、その価値に気づき、新たな価値に変えていけるよう地道にやっていくことが大切だとアドバイスをいただきました。

福岡ブロック会議 活動概要

日 時：令和3年12月19日（日）15時00分～17時00分

実施方法：オンライン

会議テーマ

コロナ禍での地域づくり活動の実践について

1. 団体からの活動報告

福岡ブロックには137団体の登録がありますが、お互いの活動を知る機会が少なかったため、ブロック会議にて今年度御加入いただいた団体を中心に、活動報告をしていただきました。

- 災害復興架け橋隊

被災地の復興ボランティアや、被災地の特産品の栽培や販売を手伝う
「農業ボランティア」活動について



- 九州大学公認サークル iTOP 内プロジェクト「ゼロから伊都」

学生と地域の交流促進や買い物支援のための地元農家と連携した野菜販売所の運営や交流イベントについて

- いとしまこども食堂ほっこり

多世代交流や子どもたちの自立支援を目的に子ども食堂やフードパントリー事業について



- 九州大学公認サークル iTOP 内プロジェクト「ENGAWA Project」

筑前前原に学生街を創るため、学生シェアハウスやアートギャラリー、学生居酒屋等の運営について

- 筥崎まちづくり放談会

箱崎地域をあげた「ハコフェス」、農業教室、マルシェの開催等によるまちづくりについて

- 糸島甘夏堂

地域の魅力発信や活力向上を目指し、特産品の甘夏を使った加工品の製作・販売について

2. 基調講演及び意見交換会



- テーマ：「コロナでも決してあきらめない」

講 師：うきはの宝株式会社 代表取締役 大熊 充氏

課題が多い農村で、多世代型協働による課題解決のモデルとなっている75歳以上のおばあちゃんたちが得意と特性を活かし、生きがいと収入を得られるようにと始められた「ばあちゃん食堂」について、御紹介いただきました。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大のために食堂の休業を余儀なくされた間もかつお節を使った調味料「万能まぶし」の開発を行うなど、コロナ禍でもあきらめず、工夫して活動を継続されていること等について、お話いただきました。

ばあちゃん食堂

- 意見交換会 「コロナ禍での地域づくり活動の実践について」

講演を受けて、それぞれの団体の現状、活動の際に気を付けていること、工夫していることなど、講師も交えて意見交換を行いました。



筑後ブロック会議 活動概要

日時：令和3年11月22日（月）13:30～14:40

会場：久留米市市民活動サポートセンターみんくる（オンライン配信も実施）

令和3年度 会議テーマ 「コロナ禍での地域づくり活動について」

1. 講演

◆講師：筑後川ビジネス株式会社 代表取締役 西本 英雄氏
「新たな地域コミュニティ活動について」

筑後川ビジネス株式会社は、地域の広報力強化を目的に地域媒体を従来のテレビ、新聞、出版を超えて情報のプラットフォームづくりを手掛け、地域で活動している取組を広域発信しています。今回の講演は、取組を通して「新たな地域コミュニティ活動について」をテーマに御講演いただきました。

昨今叫ばれている持続可能な地域振興や、コミュニティづくりをどのように行っていくかが地方創生全般の共通の課題と考え、地域情報集約と広報力強化のために、様々な地域活動（活動知見、産学知見、広報価値、地産価値）を点から線にしていくことを事業コンセプトとされています。

本年度の活動では6月に、筑後川流域経済創生マガジン「CHIKUGOGAWA.Biz」を創刊されました。この無料の季刊誌は、筑後川流域の地方創生の可能性や課題、地域の魅力を経済の観点から発信していくものです。また、8月開催の東京大学主催のシンポジウムでは、河川流域という地域単位に着目した取組について発表されました。

情報ポータルのある方を老若男女偏りなくいかに楽しんでもらうか。また、情報発信をどのようにプラットフォーム化して残していくか等が今後大事になってくるとお話いただきました。



2. 意見交換

各参加団体の活動状況について、報告及び意見交換を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、予定していた事業を十分に行うことができなかったと報告が多い中、オンライン会議を活用しつつも、対面で行うことも大切にしていきたいといった意見がありました。

意見交換においては、課題となっている後継者不足について、SDGs など新たな切り口で若者と接点を持つ機会があるとよいのではと講師からアドバイスがあるなど、今後の活動を行っていくうえで有意義な機会になりました。



令和2年度筑豊ブロック会議 活動概要

日時：令和3年2月13日（土） 13：30～15：30

方法：Web会議（Zoom）

会議テーマ

ポストコロナと地域づくり～今、これからの活動を考えよう～

1. 活動報告

◆発表者

・NPO法人 住学共同機構筑豊地域づくりセンター 理事 澤田 聖士氏

2018年10月に、大学生と地域の企業、地域住民の出会いの場、交流の場、協働の場をコンセプトに開設された「つなぐカフェ@飯塚」における以下の活動についてコロナ禍での活動を交えながら発表していただきました。



○主な活動である、自分の趣味やこれからやってみたいことなどを自由に話せる「TGIF ミーティング」や学生の視野を広げることを目的に世界各国で活動している人と飯塚の学生をつなぐ、オンラインを活用した「国際交流イベント」の開催

○コロナ禍の活動としてオンラインイベント情報を掲載できるサイト「チクホウキャラバン」の立ち上げ

○地域内の大学生が主体となって実施するイベントの開催経費を助成する大学生向け「提案公募型事業」の実施

〈「提案公募型事業」を活用した大学生による地域での取組発表〉

・近畿大学 産業理工学部 経営ビジネス学科 1年 満田 聖哉氏

コロナ禍で交流がない大学生たちの不安を取り除き、リフレッシュすることを目的としたスポーツ交流イベントを企画・実施したことについて発表していただきました。

・九州工業大学 情報工学部 情報通信工学科 2年 砂本 樹矢氏

誰にでも平等かつ質の高い教育機会をつくりたい、既存の学習塾のスタイルを変えたいとの思いから企画・実施されている、飯塚市の中学生を対象とした地域密着型のオンライン家庭教師「オンゼミ」について発表していただきました。

2. 意見交換会

NPO法人住学共同機構筑豊地域づくりセンター澤田理事にファシリテーターを務めていただき、オンラインの活用方法についてアドバイスをいただきながら意見交換を行いました。地域づくり活動を持続的に行っていくために必要となる若い世代の意見を聞くことができた有意義な意見交換会になりました。



令和3年度京築ブロック会議 活動報告

日時：令和3年11月11日（木）13：30～16：15

会場：守田蓑洲旧居

参加者：40人

テーマ 地域の魅力は地域の力で～うみとやまをめぐる～

令和3年度京築ブロック会議では、「地域の魅力は地域の力で～うみとやまをめぐる～」をテーマに、杓尾山から杓尾海岸「姥が懐」までを歩いてめぐり、現地での講演を行いました。

1. フィールドワーク

◆講師：濱島 正憲 氏（杓尾学校 校長）

「石の博物館」

杓尾山にある多数の石の遺跡にスポットをあて「石の博物館」と題しガイド活動等を行っている「杓尾学校」の皆様に御案内いただきながらフィールドワークを行いました。

地元住民も知らない貴重な資源を掘り起こし、地域づくりにつなげるという事例を学ぶことで、改めて地域の魅力を見直す機会となりました。



2. 講演

【講演①】

◆講師：森友 敦子 氏（豊の国海幸山幸ネット 代表）

「姥が懐」砂かき大作戦について」

英彦山神宮の禊場であり、豊玉姫伝説の舞台である「姥が懐」の景観を守るために海岸清掃を続けている「豊の国海幸山幸ネット」の代表である森友氏に、2020年に実施した、砂で埋まってしまった「姥が懐」を地域の方と掘り起こした「姥が懐」砂かき大作戦について御講演いただきました。

【講演②】

◆講師：古賀 弘美 氏（守田蓑洲旧居 館長）

濱島 鈴枝 氏（杓尾学校）

「守田蓑洲旧居について」

今回のブロック会議の会場である行橋市指定史跡守田蓑洲旧居について、守田家の歴史や守田蓑洲旧居の役割・造りについて御講演いただきました。

